



































チャレンジ項目記入数

5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		組織の目的及び戦略的な方向性に関し、結果に影響を与える外部及び内部の課題を全社中期計画で明確化し社員へ説明会を実施している。これらの外部及び内部の課題に関する監視及びレビューを「経営会議」または「事業戦略会議」で実施している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		会社運営、開発、人事労務含め会社を運営する上で必要な工程を定め、その活動に必要な法律を洗い出すことによって、コンプライアンスを守る事を目的に、必要な法令と規程の一覧を文書化(MM-ABU-21023)し社員へ公開している。また、毎年実施しているeラーニングの中で、CSR・コンプライアンスに関する教育を実施し、社員への啓発を行っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		当社の運営と業務に関わる機器の導入においては、設備導入管理規程(MVD規-0017)にて、起案部門からの設備導入計画書をもとに設備投資審議会で審議を行うよう定めている。また業務受注先に関しては与信管理規程(MVD規-0032)、委託先に関しては外注委託管理規程(MVD規-0031)に基づき、新規取引/継続取引の可否を経営会議で判断している。社員へは、年に一度eラーニングを活用し周知に取り組んでいる。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		関連する役割に対して、代表取締役が責任及び権限を割り当て、組織内の伝達と共通理解を確実にするためのコーポレートガバナンス体制を構築している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		製品開発で使用する業務方針の方針策定ガイド(MM-ABU-16008-05)に、“13.先行技術/先願発明調査/特許侵害確認”を設け、知財に関する調査を実施するよう定めている。また、外部機関(INPIT熊本県知財総合支援窓口)の支援の下、定期的に知的財産に関する研修や勉強会を実施している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護管理規程(MVD規-0038)、特定個人情報取扱管理規程(MVD規-0015)を定め、個人情報管理方法を明確化し、情報管理を実施している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		お客様(取引先、熊本県、学校含む)との定期的な打合せで顧客の声を大事にし、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。(株)トッパン・テクニカル・デザインセンター様やルネサスエレクトロニクス(株)様とのアライアンス締結による事業連携、熊本県UXProjectに参画し、地域連携での取り組みを実施している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	“設計者だけからの脱却”を目的とした、部長以上の社外教育(1年間を通じた実践教育)を実施し、会社を成長させる人財を育成することで、事業承継に関する対策を行っている。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	


















チャレンジ項目記入数

5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社内ホームページに、代表取締役からのメッセージとして、“ハラスメント行為は断じて許さず、ハラスメント行為を発生させない、許さない企業風土づくりを進める”旨のメッセージを掲載している。また、職場におけるハラスメントを防止するために従業員が遵守すべき事項や処置等を定めたハラスメント管理規程(MVD規-0029)を策定し、働きやすい職場環境の実現に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を中心に、安全衛生管理についての基本的な事項を定め、もって従業員及び派遣従業員並びに構内の関係請負人等の安全と健康を保持すると共に、災害及び事故を未然に防止することを目的とした安全衛生管理規程(MVD規-0019)を策定し、社員の安全健康維持、事故未然防止に取り組んでいる。また、2022年度中には、本社地区勤務が50名を超える事を想定しており、第二種衛生管理者免許を取得し、桜十字病院と産業医契約を実施している。			3				8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態による賃金(時間外勤務手当も含む)、交通費や健康に関する補助等の差は無く、公正な待遇を行っている。また、2022年4月より、新人事評価制度(役割票制度)を導入している。現在、人事考課面接と賞与査定面接で給与、賞与を決めているが、更に、その透明性、納得性、公平性の向上も図るべく、役割評価表(人財代替性、革新性、専門性、裁量性等)で等級に対する基準評価(点数)を決め、給与を決定している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間短縮を進め、総労働時間は年々減少している。働き方改革への取組みとして、フレックス制度・時短労働制度導入・特別有給休暇制度導入・男性社員育児/介護支援制度、時短勤務週休3日制を導入し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		eラーニングを活用し役割に応じた教育コンテンツを整備し、社員は毎年教育を受講している。新入社員に対しては新入社員毎にOJD指導者をアサインし、OJD指導計画立案のもと、開発を通じてトレーニングを実施している。その他、マネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を2022年3月より開始している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康診断、予防接種の経費補助を実施している。その他、外部機関より、健康経営優良法人(経済産業省)の認定、教会けんぽヘルスタ認定★★を受けている。			3					8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。2022年4月より、新人事評価制度(役割票制度)を導入している。現在、人事考課面接と賞与査定面接で給与、賞与を決めているが、更に、その透明性、納得性、公平性の向上も図るべく、役割評価表(人財代替性、革新性、専門性、裁量性等)で等級に対する基準評価(点数)を決め、職位を決定している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	新しい働き方に対する取組みとして、フレックス制度・時短労働制度導入・男性社員育児/介護支援制度、時短勤務週休3日制を導入している。また、従業員がリモートアクセスにて社内ネットワークに接続する為の設備を導入し、リモートアクセス管理規程(MVD規-0041)を策定し、運用を進めている。コロナ禍においては、お客様の許可を得たうえで、現在、約70%の社員が在宅勤務を実施している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	全従業員へPC及びモニターを支給している。従業員がリモートアクセスにて社内ネットワークに接続する為の設備を導入し、リモートアクセス管理規程(MVD規-0041)を策定し、運用を進めている。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					


















チャレンジ項目記入数

5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		資源として再利用可能なものと焼却する物の基本的なごみの分別を実施している。またPC等の当社設備の廃棄に関しては、設備導入管理規程(MVD規-0017)の第15条(設備の廃棄)、第16条(設備の売却)で廃棄/売却手続きを定め、適切な管理及び処理に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		離席時のモニター電源OFF、PC無操作状態が60分継続したら強制的にスリープになるようPCを設定する事で電力削減に取り組んでいる。毎月のエネルギー使用量の把握と見える化の取組を開始し、電力使用量把握及び異常値発生時の分析と対策実施に取り組んでいる。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		自社の事業(半導体の設計事業)におけるエネルギー使用は電力のみである事から、電力削減の取組(離席時のモニター電源OFF、PC無操作状態が60分継続したら強制的にスリープになるようPCを設定、電子機器未使用時の待機電力を削減する為にコンセントタップをOFFする(最終退場時の火気点検で改めて最終退場者が確認)等)により電力削減に取り組み、電力使用量からCO2排出量を把握している。異常値発生時は分析と対策実施に取り組んでいる。また、自社作業環境のチェックの観点では、定期的な環境測定(温度/湿度/CO/CO2)を実施し異常値が無いかの確認を実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		半導体デバイスは、毒性のある無機化合物を含んだ材料が使用される。半導体のデバイス製造会社においては鉛フリー化等、毒性のある材料を使用しないような取組が進められている。当社が出来る最大の”生物多様性への取組”は、当社設計・開発製品に不良混入させないことで環境負荷を低減する事である。当社設計・開発製品の不良混入による廃棄品の削減、再設計(リワーク)に伴う追加資源を抑制する為に、各作業工程毎にチェックポイントを設けたLSI設計開発標準工程一覧表(MM-ABU-17065)、品質保証体系図(MM-ABU-17065)を活用し、設計・開発する製品の品質維持・向上に取り組んでいる。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社内のほぼ全ての会議において、資料はデータで配布、またはファイルサーバーに格納し、各自パソコンで資料を参照する「ペーパーレス会議」を実施している。お客様との打ち合わせにおいてもWEB会議を活用した資料の共有により、「ペーパーレス会議」を実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		半導体の製造には、大量の水を使用する(例:TSMCだけでも1日15万6000トン) このことから、当社の出来る最大の”水の管理”は、当社設計・開発製品に不良混入させないことであり、各作業工程毎にチェックポイントを設けたLSI設計開発標準工程一覧表(MM-ABU-17065)、品質保証体系図(MM-ABU-17065)を活用し、設計・開発する製品の品質維持・向上に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		半導体先端プロセス対応による低電力化の対応と設計技術開発、並びに低消費電力コア(IP)の開発を推進する事で、クリーン技術及び環境に配慮した技術開発に貢献している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

チャレンジ項目記入数

5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		企業理念を実現し、経営姿勢を具体的に実践する経営活動の一環として、ISO9001マネジメントシステムを構築している。当社の扱う製品、サービスおよび事業活動において、品質向上をはかり、顧客満足向上に努めるとともに、品質マネジメントシステム運用の有効性と適切性を持続させるために、定期的にレビューし、継続的改善を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		事務所入退場口はスロープを設置している。 熊本県の今後10年の産業成長ビジョン推進の為にUXProjectと連携し、地域連携ヘルスケアシステム・サービス実現を目指し活動を開始している。使用する機器に関してはユニバーサルデザインを考慮した製品を意識し開発を進めている。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	熊本県の今後10年の産業成長ビジョンである”自分らしく最期まで「健康で」「楽しく」「美しく」いられる生活の実現”を目指し、当社AI新技術の実用化に向けた検討を開始している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本県工業連合会へ入会し、県内工業界の力を集結して共通課題の解決にあたり、工業の振興とともに地域社会の発展へ取り組んでいる。また、産業技術の開発および実用化を促進し、地域産業の技術高度化および関連企業の振興を図ることを目的としているRIST、及び、くまもとクロスイノベーション協議会に加盟して、産学官が一体となった取組に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		安全衛生管理規程(MVD規-0019)に基づき、定期的な建設物内外の消防設備・避難経路・AED設置場所の掲示と周知、防災グッズ、救急箱、常備薬の点検、作業の安全についての教育及び訓練を実施し、防災対策に取り組んでいる。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	地元の高専生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。また、熊本大学社外講師対応や熊本高専との共同研究を推進し、地域の学生に対し、職業の学びの場を提供している。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17